

千葉地裁は強制執行許可するな

5・25請求異議裁判へ

もう一つの農地裁判！耕作権裁判を4月24日に闘いました



「千葉地裁はNAAによる市東さんへの強制執行申請を許可するな」と訴えている請求異議裁判の第2回弁論に集まってください。5月25日、午前10時30分、601号法廷です。この裁判は最高裁で確定した判決後に発生した事柄を基に、強制執行を許可する権限のある千葉地裁に対して、「執行を許可するな」と訴えた裁判です。

今回で第2回目。農地の73%を奪う戦後最悪の強制執行に対して、市東さんの生きる権利を奪うなどと訴えています。9時30分からのデモと署名の提出も行います。署名への協力をお願いします。(下に要項)。5月21日には天神峰カフェ、7月9日には現地行動&夏まつりを市東さん宅で行います。ご参加下さい。



5月25日の署名提出にむけて5月3日の憲法集会で訴え、817筆を集めました

農地の強制執行阻む署名をお願いします

5・25請求異議裁判 (第2回)

- 5月25日(木) 午前9時 千葉市中央公園＝デモ
- 午前10時30分 弁論開始 601号法廷

5・21天神峰カフェ

- 5月21日(日) 成田市天神峰63 市東孝雄さん宅離れ
- 午前9時 農作業体験コース
- 午後1時 現地見学、ツアーコース

★3面に前回の
カフェの記事

自治体協が「深夜・早朝便延長の一部見直し」要望

5月11日、空港圏自治体連絡協議会（9市町）は、県知事と共に、国交相に対して「深夜・早朝便延長の一部見直し」を要望しました。「深夜・早朝便の延長」については、すべての説明会で反対の意見が噴出しました。そのため自治体協は、「一部見直しを要望」せざるをえない所に追いつめ



「一部見直し」の要望を決めた自治体協議会（4月19日 成田市役所）

「見直し」でなく「撤回」を

られたのです。しかし、これだけでは住民の生活は守れません。

「断固撤回」を要求すべきです。

他方で自治体協の魂胆（こんたん）も明らかです。「若干の延長時間の短縮」で住民の怒りをなだめ、空港機能強化策については推進しようというのです。新聞も書いています。「落としどころが決まっているとも聞こえる」と（4

月25日付毎日新聞）。

問題は「深夜・早朝便延長」だけではありません。第3滑走路による騒音地獄の拡大、1000羽もの自然破壊に怒りが集中しています。「空港機能強化案」阻止へさらに力を合わせましょう。

横芝光町では3カ所めの「絶対反対」看板が立ちました（下）。「機能強化案」は阻止できます。

住民の怒り行政を圧倒



5月10日に立てられた「横芝地区有志」による機能強化反対の看板

横芝光町の横芝地区にも看板が立つ

2月上旬の中台区、4月6日の木戸台区に続き5月10日、横芝光町・横芝地区で「空港機能強化絶対反対」の看板が立ちました。JR横芝駅近くの横芝地区は今でも耐え難い騒音にさらされていますが、第3滑走路ができればその比ではありません。住民は「騒音拡大への怒りを示したい」と気持ちを語っています。横芝地区に続こう。

安倍首相の改憲^発言弾劾



改憲集会に送ったビデオでの改憲発言を、国会で居直る安倍首相（5月8日）

「現代の治安維持法」共謀罪を許すな

去年を上回る5万5千人が集まった5・3憲法集会（江東区・有明）



安倍首相は5月3日の改憲派集会にビデオメッセージを送り「自衛隊を合憲化すべきだ」との主張を行いました。安倍首相による公然たる改憲発言に猛然たる怒りが巻き起こっています。

この発言について5月8日の衆議院予算委員会で追及された安倍首相は居直る

どころか、12日には自民党に対して具体的な改憲案の取りまとめを指示し、その中で、憲法9条の2項＝交戦権の放棄を削除する方針を示しました。

これは日本人が300万人以上、アジアの人々を含めれば2000万人以上の犠牲の上に築かれた戦後憲法体制の根底からの否定であり、戦前を上回る戦争国家化推進の宣言です。一体でたくらまれる「現代の治安維持法」＝共謀罪制定は戦争体制作りそのものです。許してはなりません。東京・有明防災公園で行われた5月3日の憲法集会には、5万5千人の人が安倍政権打倒の闘いに立ちあがりました。反戦・反権力の砦＝三里塚は、軍事転用のための第3滑走路を阻止しつつ、安倍政権による戦争推進攻撃と闘います。

4
16

天神峰カフェに27人が参加 市東さんと交流 5月21日に3回目開催

4月16日、「天神峰をにぎやかにしよう」との趣旨で、2回目の天神峰カフェが開催され、東京や千葉からの参加を含め27人が市東さんと交流しました。市東さんの畑見学、第3滑走路敷地の体験ツアーやDVD鑑賞で1日を過ごしました。5月21日に3回目を行います。ぜひご参加下さい。（1面に要項）

離れの前で市東さんと談笑（4月16日）

地域住民の声

成田～芝山～多古～ 横芝光

今回は多古町、横芝光町の住民から意見を聞きました。「空港による地域の発展」がデマであることを述べ、「法律がない」ことを理由に騒音対策をしないNAAの傲慢さを弾劾しています。

◆「法律がないから対策できない」の傲慢

横芝光町 農業（男性）

私は最初から、深夜早朝便の3時間延長に大反対だった。3年前に2時間延長を言ってきて、それから3年しかたっていないのに、もっとひどい延長を言い出した。何を言ってるんだという思いだ。

新滑走路の騒音についてもひどい話だと思う。特に横芝光町の騒音地域は、たまったもんじゃない。今あるB滑走路より、4^{キロ}南（横芝光町方向）に下がったところに3500^{メートル}の滑走路を造る。それも

50万回規模だ。一方、メリットなんか何もない。

成田空港は民営化されたんだから、1民間企業だ。それが他人に迷惑をかけたから補償をしなきゃならないし、謝罪することが常識だ。ところがNAAはふんぞりかえって、住民の要求に「法律に書いてないから対策はとれません」と平気な顔をして言う。だったら法律を変えろよ、という話だ。騒音防止法は住民じゃなくてNAAを守る法律だ。

◆「共栄」はうそ。空港ができて町はさびれた

多古町 主婦

多古町では空港ができて町がさびれた。直接成田駅に行くバスがなくなった。空港を誘致して栄えるということはないんじゃないか。部落が成り立たなくなってきた。祭りの囃子（はやし）を学ぶひまもない。子どもも減った。もっとお互いで助け合うようになればいいと思う。第3滑走路ができると飛行機が近くなる。再移転しないといけない所もある。菅澤町長は計画も明らかにせず、移転対象だから準備しておけと言った。人の生活を何だと思っているのか。

JRの青年労働者が市東さんと交流

4月22日、JRの労働組合である動労水戸と動労千葉の青年部の労働者が成田市天神峰を訪れ、空港による「農民追い出し」の現場を体験し、市東孝雄さんらと交流会を行い団結を深めました（写真）。「リアル三里塚を体験でき、私たちも闘わなければいけないと、改めて実感した」と語ってくれました。

